

|        |              |    |      |
|--------|--------------|----|------|
| 所 属    | 環境生活部人づくり文化課 |    |      |
| 担当(係)名 | 文化振興担当       | 内線 | 2455 |

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (2) 企画調査費  
(明細書事業名) 総合文化推進費  
小島信夫文学賞開催事業費補助金

1 事業費 【財源内訳】  
1,500 一般財源 1,500  
(前年度 - )

2 事業目的

**小島信夫文学賞への支援**

「小島信夫文学賞の会(会長:吉田 豊)」が行う、郷土の誇りとする芥川賞作家  
・小島信夫氏の文学的営為を顕彰し、岐阜から発信する全国規模の文学作品の公募  
・選考及び表彰である『小島信夫文学賞』を支援することにより、岐阜の文学をア  
ピールするとともに、ふるさと岐阜の未来を支え、心豊かな県民を育み新たな文化  
風土の創造を図る。

3 事業内容

「小島信夫文学賞の会」が実施する第5回小島信夫文学賞に対して助成する。

— 小島信夫文学賞の概要 —

- ・ 目的: 岐阜から発信して広く全国に作品を公募し新人作家の発掘を目指す。
- ・ 内容: 全国から未発表の小説作品を公募、選考委員会による選考を経て授賞式を開催
- ・ 実績: 第1回(平成11,12年)が行われて以来、これまでに4回開催  
これまでの応募作品762編(第4回応募作品206編)
- ・ 第5回事業の予定: 平成19年度 作品の公募、選考  
平成20年度 授賞式

第2回~第4回までは(財)岐阜県教育文化財団が助成してきたが、県出身最初の芥川賞作家で、戦後の日本文学を牽引してきた格別の存在である小島信夫氏の偉業を顕彰するため、氏のご逝去を機に新たな事業として支援する。

4 事業効果

岐阜県の文化を象徴する文学賞として「ぎふブランド」の一翼を担う。

小島信夫氏  
大正4年生まれ、岐阜県稲葉郡加納町出身。昭和16年東京帝国大学英文科卒。昭和30年「アメリカンスクール」で芥川賞受賞。昭和42年「抱擁家族」で谷崎潤一郎賞、昭和56年日本芸術院賞、平成6年文化功労者、平成16年旭日重光章受賞。平成18年10月26日逝去、享年91歳